

| | |
|------------------|---|
| Title | 研究・教育活動業績 |
| Sub Title | |
| Author | |
| Publisher | 慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター |
| Publication year | 2015 |
| Jtitle | 慶應義塾大学DMC紀要 (DMC Review Keio University). Vol.2, No.1 (2015. 3) ,p.52- 55 |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | 記録 |
| Genre | Article |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO32002001-00000002-0052 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

記録

研究・教育活動業績

凡例＝本記録は研究員による研究・教育活動の業績一覧であり、研究員の投稿にもとづくものである。1. 著書・訳書、2. 論文、3. 学会発表、4. 講演・展覧会・ワークショップ等、5. その他。

松田隆美 (所長 研究員 文学部教授)

1. 著書・訳書

(共編著) 松田隆美・徳永聡子 (編著) 『世界を読み解く一冊の本』慶應義塾大学出版会、2014年10月。pp. iii + 239 + 44 (「世界を読み解く一冊の本—ヨーロッパ中世・近代初期の象徴事典の系譜」 pp.739-96、「前言」 pp. i-iii 執筆)。

2. 論文

松田隆美「断片研究と時禱書写本 — 16世紀初頭の時禱書写本零葉をめぐる—」Colloquia (Keio University), 35(2014), 89-103

3. 学会発表

(invited paper) Takami Matsuda, "Text and illustration in the margin of late medieval manuscripts" 延世大人文学研究院・慶應義塾大学文学部共同セミナー「文字・テキスト・イメージ」2014年5月30日。延世大学(ソウル)。

松田隆美「写本のパラテキストと俗語文学作品のコンテキスト」西洋中世学会第6回大会シンポジウム「西洋中世写本の表と裏—写本のマテリアリティと西洋中世研究—」(司会および講師)。2014年6月22日。同志社大学。

(plenary lecture). Takami Matsuda, "The 'ravysing' of the soul in the Friar's Tale". IES-Keio Joint International Conference: Old and Middle English Studies: Texts and Sources. Institute of English Studies, University of London, 3-5 September 2014.

松田隆美「西洋中世研究とデジタル化の功罪—デジタル・ジレンマを超えて—」京都大学大学院文学研究科・文学部公開シンポジウム『人間とテクノロジーの歴史と現在』(講師)。京都大学、2014.12.14.

齋藤英雄 (副所長 研究員 理工学部教授)

2. 論文

池田拓也, 小倉洋平, ドウ ソルビエ フランソワ, 齋藤英雄 "RGB-D カメラを用いた実時間ライティング映像生成システムの開発" 映像情報メディア学会誌, Vol. 68, No. 12, p. J558-J568, 2014年12月

3. 学会発表

Hideo Saito "Vision-based 3D sensing and visualization for real world applications" Keynote Speech, The Irish Machine Vision and Image Processing Conference (IMVIP2014), Derry-Londonderry, Northern Ireland, 27 August, 2014.

4. 講演・展覧会・ワークショップ等

Tutorial Organizer, Diminished Reality, in the 13th IEEE International Symposium on Mixed and Augmented Reality 9 September 2014 Tutorial Lecture, Hideo Saito, Diminished Reality as Specialized View Synthesis from Multi-Camera Video Capture

安藤広道 (研究員 文学部教授)

1. 著書、訳書等の刊行

『慶應義塾大学日吉キャンパス一帯の戦争遺跡の研究 2011～2013年度科学研究費補助金研究成果報告書』(編著) (「日吉キャンパス一帯の戦争遺跡研究の序—近現代史研究と戦争遺跡研究をめぐる備忘録—」1-6頁、「日吉キャンパス内の地下壕群の調査」7-64頁、「アジア太平洋戦争前後の日吉一帯に関する手記と聞き取り」117-123頁執筆)

2. 論文

「「水田中心史観批判」の功罪」『国立歴史民俗博物館研究報告』第185集 国立歴史民俗博物館 405-448頁

4. 講演、展覧会、ワークショップ等

展覧会「慶應義塾大学所蔵資料展 開け！縄文—愛媛県上黒岩岩陰遺跡にみる縄文文化の形成過程—」港区立港郷土資料館 開催期間 2014年1月6日～2月22日 監修

ワークショップ「探訪！日吉の戦争遺跡」「日吉で学ぶアジア太平洋戦争」2014年度実験授業日吉学～日

吉で遊ぶ日吉で学ぶ～ 6月21日、28日 慶應義塾大学教養研究センター

小菅隼人 (研究員 理工学部教授)

2. 論文

「東京青年劇場版「ハムレット」(1947年)上演の意義」、『慶應義塾大学アート・センター年報(2013/2014) 21』, 108-116, 2014/04/05.

「シェイクスピア時代の〈相対主義的想像力〉について：伝統的宇宙像と演劇的世界観の融合と相克」、『慶應義塾大学アート・センター/ブックレット、22号、特集号「コスモス：いま、芸術と環境の明日に向け」22』, 96-114. 2014/03/31.

3. 学会発表

(口頭発表)

Shakespeare with Butoh: Hijikata Tatsumi's Choreography of Macbeth (1972). FIRT/IFTR International Federation for Theatre Research World Congress Warwick 2014, UK. 2014/08/01.

Epiphanies of Tōhoku Avant-garde: Modernity and Indigenesness of Post-war Japan. 20th PSI conference. Shanghai Theatre Academy, China. 2014/07/06.

(コーディネイトおよびパネリスト)

「文楽助成金削減問題セッション」, 2014年日本演劇学会全国大会シンポジウム, 摂南大学, 2014/06/14

5. その他

(新刊書紹介)

「山田昭廣『シェイクスピア時代の読者と観客』、『演劇学論集：日本演劇学会紀要58』, pp.93-95. 2014/11/30.

金子晋丈 (研究員 理工学部専任講師)

2. 論文

嶋村孔明, 金子晋丈, 寺岡文男, “Information Centric Networkingにおけるキャッシュ方式の比較” 信学技報, vol. 114, no. 18, CQ2014-13, pp. 63-68, 2014年4月.

清水倫人, 金子晋丈, 寺岡文男, “パケット毎に冗長経路を選択するOIFルータの設計と実装” 信学技報,

vol. 114, no. 17, CS2014-10, pp. 51-56, 2014年4月.

川口慎司, 金子晋丈, 寺岡文男, “広域ネットワーク管理のためのオントロジーを用いた知識ベースの提案”, 第15回インターネットテクノロジーワークショップ, 12p, 2014年6月.

森康祐, 春山真一郎, 金子晋丈, 寺岡文男, “高速列車用光空間通信システムにおけるCMOSカメラを使った追尾手法”, 第15回インターネットテクノロジーワークショップ, 10p, 2014年6月.

関口貴久, 張亮, 岡廻隆生, 金子晋丈, 寺岡文男, “時刻同期のためのネットワーク機器の高精度ジッタ計測” 信学技報, vol. 114, no. 107, NS2014-41, pp. 11-16, 2014年6月.

関口貴久, 張亮, 岡廻隆生, 金子晋丈, 寺岡文男, “優先度設定したパケットのネットワーク機器における遅延時間の高精度計測” 信学技報, vol. 114, no. 139, IN2014-42, pp. 71-76, 2014年7月.

金子晋丈, 石川尋代, 宮下山斗, “デジタルデータの多面的利用を可能にするデータ管理・利用モデル”, 電子情報通信学会ソサイエティ大会 BP-2-5, 2014年9月.

安藤大佑, 金子晋丈, 寺岡文男, “広域分散サーバを用いた大容量ファイルの保存・取得方式”, 電子情報通信学会論文誌B Vol. J97-B, No. 10, pp. 861--872. 2014年10月.

Kosuke Mori, Masanori Terada, Ryoji Murakami, Daisuke Yamaguchi, Kazuki Nakamura, Kunitake Kaneko, Fumio Teraoka, Shinichiro Haruyama, “Fast Handover Mechanism for High Data Rate Ground-to-Train Free-Space Optical Communication System”, In Proc. of 5th IEEE Workshop on Optical Wireless Communications, pp. 499-504, Austin, USA, 2014年12月.

Fumio Teraoka, Sho Kanemaru, Kazuma Yonemura, Motoki Ide, Shinji Kawaguchi, Kunitake Kaneko, “ZNA: A Six-Layer Network Architecture for New Generation Networks -- Focusing on the Session Layer, the Network Layer, and Cross-Layer Cooperation --”, 電子

情報通信学会論文誌 B Vol. E97-B, No. 12, pp. 2583--2595. 2014 年 12 月 .

清水 倫人, 北村 匡彦, 寺岡 文男, 金子 晋丈, “優先度付き FEC を備えた順不同型 UDP ファイル伝送のためのトラヒック削減方式” 信学技報, vol. 114, no. 478, IN2014-142, pp. 127-132, 2015 年 3 月 .

川口 慎司, 大島 涼太, 金子 晋丈, 寺岡 文男, “汎用的ネットワーク管理に向けたオントロジに基づくネットワーク管理知識のモデル化” 信学技報, vol. 114, no. 495, IA2014-102, pp. 125-130, 2015 年 3 月 .

大島 涼太, 川口 慎司, 鎌谷 修, 明石 修, 金子 晋丈, 寺岡 文男, “広域ネットワーク管理に向けた経路制御情報ナレッジベースの構築” 信学技報, vol. 114, no. 495, IA2014-103, pp. 131-136, 2015 年 3 月 .

小倉 毅, 清水 倫人, 李 侑美, 北村 匡彦, 金子 晋丈, 君山 博之, 藤井 竜也, 高原 厚, “超分散分割保存された大容量コンテンツ配信のためのトラヒック制御技術” 信学技報, vol. 114, no. 495, IA2014-103, pp. 131-136, 2015 年 3 月 .

3. 学会発表

佐野岳史, 齋藤一輝, 山岸拓郎, 宮下山斗, 金子晋丈, “Content Espresso を用いた非圧縮ライブ配信”, CineGrid@TiFF 2014, 東京, 2013 年 10 月 21 日 .

Kunitake Kaneko, Hiroyo Ishikawa, Yamato, Miyashita, “Design and Prototype of Museum of Shared and Interactive Cataloguing”, Nordic Digital Excellence in Museums Conferences 2014, 2014 年 12 月 2 日 .

Takeshi Sano, Takuro Yamagishi, Yamato Miyashita, Fumio Teraoka, Kunitake Kaneko, “Live Rendering with Content Espresso and Catalogue”, 9th Annual CINEGRID International Workshop 2014, San Diego, USA, 2014 年 12 月 8 日 .

Kunitake Kaneko, “CineGrid Exchange 2.0 Testbed Architecture Proposal”, 14th Annual ON*VECTOR Photonics Workshop, San Diego, USA, 2015 年 2 月 26 日 .

4. 講演・展覧会・ワークショップ等

小倉 毅, 清水 倫人, 北村 匡彦, 金子 晋丈, 君山 博之,

藤井 竜也, 高原 厚, “ネットワーク仮想化基盤とアプリケーション”, NICT オープンハウス 2014, 小金井, 2014 年 11 月 27-28 日 .

Hiroyo Ishikawa, Kunitake Kaneko, “Trial of “MoSaIC”: Museum of Shared and Interactive Cataloguing,” Nordic Digital Excellence in Museums Conferences 2014, 2014 年 12 月 2 日 .

寺岡文男, 金子晋丈, “ZINK: ICN on ZNA”、第 15 回慶應科学技術展, 東京, 2014 年 12 月 5 日 .

金子晋丈, 寺岡文男, “SDN で拓く 4K 大容量コンテンツ配信の世界”、第 15 回慶應科学技術展, 東京, 2014 年 12 月 5 日 .

金子晋丈, 寺岡文男, “メディアネットワークの未来”、第 15 回慶應科学技術展, 東京, 2014 年 12 月 5 日 .

池田真弓 (研究員 理工学部専任講師)

3. 学会発表

(講演)

"An Early Printed Herbal in Context: Illustration of the /Herbarius latinus/." 16th Masterclass, Cambridge University Library Incunabula Project, Cambridge, UK, 2014/09/02.

(口頭発表)

「プロジェクトをアーカイブする—HUMI プロジェクトのアーカイブの試み—」,

『MoSaIC による多面的アーカイブへの挑戦』

DMC 研究センターシンポジウム第 4 回: デジタル知の文化的普及と深化に向けて, 横浜,

慶應義塾大学日吉キャンパス西別館 1, 2014 年 11 月 25 日。

"Making and Meaning of an Illustrated Herbal: The Case of the /Gart der Gesundheit/."

/Éphémère et pérenne: l'ornementation végétale dans les décors à la Renaissance/, Centre d'études supérieures de la Renaissance (CESR)/ Château d'Azay-le-Rideau, Tours, France, 2014/06/13.

5. その他

(新刊紹介)

K. Hranitzky, V. Pirker-Aurenhammer, S. Rischpler, et

al.,
"/Mittleuropäische Schulen V (ca. 1410-1450): Wien
und Niederösterreich/
[Die Illuinierten Handschriften und Inkunabeln der
Österreichischen Nationalbibliothek, Bd. 14],
Wien, Verlag der Österreichischen Akademie der
Wissenschaften, 2012, Textband 401p.+93 Abb.,
Tafelband 89p.+647 Abb., €229."『西洋中世研究』
6(2014): 236-237

石川尋代 (DMC 研究センター特任講師)

3. 学会発表

石川尋代, 宮下山斗, 金子晋丈, 斎藤英雄, 松田隆美:
“多様な関係を可視化するビジュアルインタフェース
を用いたデジタルコンテンツ閲覧システム”, 映像表
現・芸術科学フォーラム 2014, 映像情報メディア学
会技術報告, Vol. 38, NO. 16, pp.11-14.

Kunitake Kaneko, Hiroyo Ishikawa and Yamato
Miyashita, "Design and Prototype of Museum of
Shared and Interactive Cataloguing", NODEM 2014.

Hiroyo Ishikawa, Hideo Saito, Yamato Miyashita and
Kunitake Kaneko, "Polymorphic Cataloguing and
Viewing System for Using Digital Archives: MoSaIC-
II", 20th International conference on Virtual Systems
and Multimedia(VSMM2014).

4. 講演、展覧会、ワークショップ等

Hiroyo Ishikawa and Kunitake Kaneko, "Prototype
of MoSaIC (Museum of Shared and Interactive
Cataloguing)", NODEM EXPO 2014.

記録 活動実績

● 5月16日
韓国延世大学元総長の韓国病院連合理事長就任式典へ
向けての清家塾長メッセージ動画を収録・編集

● 5月20日
SFC Fabspace 開設記念パネルディスカッションを収
録・編集

● 5月31日
第23回理工学部市民講座「未来生活のデザイン」の
収録・編集を実施

● 6月4日
情報の教養学「データでサッカーの見方がどう変わる
か!？」の収録・編集を実施

● 6月19日
情報の教養学「データで貧困を考えよう」の収録・編
集を実施

● 8月20日
理工学部オープンキャンパスの収録・編集を実施

● 8月28日～31日
庄内セミナー(主催:教養研究センター、於:山形県
鶴岡市)の収録・編集を実施

● 9月1日～5日
言語文化研究所 Theoretical Linguistics at KEIO の収
録・編集を実施

● 9月3日
サンディエゴ三田会50周年へ向けての清家塾長メッ
ッセージ動画を収録・編集

● 9月17日
平成26年度9月慶應義塾大学学部卒業式の収録・編
集を実施

● 9月18日
平成26年度9月慶應義塾大学入学式(学部・大学院)
の収録・編集を実施